

日 高 地 域 公 共 交 通 計 画 策 定 支 援 委 託 業 務

(資料1) 業 務 計 画 書

令和4年7月15日

株 式 会 社 シ ン 技 術 コ ン サ ル

北海道日高地域公共交通活性化協議会

事務局員 広部 光彦 様

事務局員 三浦 舞子 様

受託者 住所 札幌市白石区栄通2丁目8番30号

株式会社シン技術コンサル

氏 名 代表取締役 重 清 祐 之

業務計画書の提出について

標記について、次の通り業務計画書を立案しましたので提出します。

1. 業 務 名 : 日高地域公共交通計画策定支援委託業務
2. 管 理 技 術 者 氏 名 : 加藤 芳樹
3. 照 査 技 術 者 氏 名 : 内藤 佳樹
4. 業 務 担 当 者 氏 名 : 榊原 仁春 他5名
5. 業 務 概 要
目 的 : 日高管内の各町参画の下、地域住民の生活を支え、また北海道観光の新たなステージに対応した持続可能な将来交通体系を構築するため、地域のマスタープランとなる「日高地域公共交通計画」を策定するもの。

業務箇所 : 北海道日高管内

工 期 : 令和4年7月7日～令和 5年3月31日

内 容 : (1)計画調査等準備
(2)地域概況及び関連計画の整理
(3)地域公共交通実態調査
(4)住民及び観光客の移動実態・ニーズ把握調査等の実施
(5)問題点の抽出・課題整理
(6)基本方針の策定
(7)北海道日高地域公共交通計画の策定
(8)計画書の作成
(9)北海道日高地域公共交通活性化協議会等の運営支援

6. 実 施 方 針 : 別紙(実施方針書)の通り
7. 業 務 実 施 フ ロ ー 図 : 別紙(業務工程表)の通り
8. 業 務 工 程 表 : 別紙(業務工程表)の通り
9. 業 務 組 織 計 画 : 別紙(業務組織計画)の通り
10. 打 合 せ 計 画 : 別紙(打合せ計画)の通り
11. 成果品の品質確保の計画 : 別紙(成果品の品質確保の計画)の通り
12. 成果品の内容、部数 : 別紙(成果品の内容、部数)の通り
13. 使用する図書及び基準 : 別紙(使用する図書及び基準)の通り
14. 照 査 計 画 : 別紙(照査計画)の通り
15. 連 絡 体 制 : 別紙(連絡体制)の通り

6. 実 施 方 針 書

(1) 計画調査等準備

①業務計画書の作成

- ・実施方針、検討手順、工程計画、人員配置、打合せ等計画、品質の計画、成果品の内容・部数、適用基準、照査計画、連絡体制について整理する。

②必要資料収集

- ・以下の上位関連計画、現況交通資料を入手または、入手するための支援を行う。
 - ▶北海道総合計画、北海道交通政策総合指針、新広域道路交通ビジョン
 - ▶各町の総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、都市計画マスタープラン、高齢者保健福祉計画、観光振興計画
 - ▶地域間幹線系統バス路線、市町村単独補助路線及び地域内フィーダー系統補助路線の輸送人数の推移、経常費用、経常収益、国・道・市町村の補助金、事業者負担額
 - ▶バス事業者の状況（車両規模別台数と登録年次、年齢別運転手人数の推移）
 - ▶ハイヤー・タクシー事業者の状況（車両規模別登録台数、年齢構成別運転手人数） 等

(2) 地域概況及び関連計画の整理

①地域概況

- ・地域・地勢、人口及び高齢化人口（現状・将来）、公共・公益施設の分布状況、観光入込客数の推移（国内・外国人）、道路交通基盤、乗用車保有及び免許返納者の状況について、必要に応じて情報提供を受けながら整理する。
- ・小中高校における公共交通対策の取組みについて、情報提供を受けながら整理する。

②上位・関連計画

- ・北海道総合計画、北海道交通政策総合指針、各町の総合計画や総合戦略、都市計画マスタープラン等、市町村の地域公共交通等から公共交通の位置づけや、公共交通との連携が考えられるまちづくりに関する内容を整理する。

(3) 地域公共交通実態調査

①路線バス等の運行実態

- ・バス路線、運行便数、輸送人数の推移、運行収支や補助金（国・道・各町）の推移、鉄道代替交通確保対策基金の状況・推移について、情報提供を受けながら整理する。

②タクシー・ハイヤーの運行実態

- ・日高管内のタクシー・ハイヤー事業者の運行状況（車両数、運転者数等）を整理する。

③交通・乗継ぎ施設の状況

- ・旧駅舎、バスターミナル及び道の駅等について、路線バスとの接続や駐車場の状況などを整理する。

(4) 住民及び観光客の移動実態・ニーズ把握調査等の実施

①住民アンケート調査

【アンケートの配布・回収方法】

- ・広報挿入配布・郵送及びWeb回収により、日高管内地域全33,582世帯（R4.5現在）を対象に1世帯当たり最大3名が回答できるアンケート調査を実施する。

【アンケート調査票の内容】

a. 個人属性等

- ・居住町、性別、年齢、運転免許の保有、高齢ドライバー（運転への不安（夏・冬、短距離・長距離）、交通事故を回避する自信、運転し続ける年齢）、運転できなくなった場合の交通手段、バス停への徒歩アクセス状況（公共交通空白地域の状況） 等

b. 交通実態

- ・バス路線の認知度及び利用頻度
- ・他市町村への「日用品買い回り」と「通院」及び利用施設名（日常生活圏の把握）
- ・1週間の移動状況の把握（時間帯、目的、出発地と到着地、交通手段、バス利用の場合は乗降停留所名、アクセス公共・公益施設名、公共交通が便利になった場合の利用） 等

c. 公共交通のあり方

- ・公共交通に求められるサービス水準
- ・新型コロナによる公共交通利用増減とポストコロナにおける有効な取組み
- ・路線バスの印象（便数、運賃、バス停までの距離、バス待合環境、乗り降りしやすさ、バス路線の分かりやすさ）
- ・公共交通を維持するための方策についての理解度（利用状況に合わせたバス路線の分割・統合、税金の投入、運賃の値上げ、減便、予約運行、乗継ぎ、複数の目的地の経由（遠回り）等）
- ・予約型バスなどデマンド交通の利用意向と料金
- ・パーク&バスライドの需要
- ・公共交通が利用しやすくなるサービス内容
- ・バス事業者など交通事業者への就業 等

②来訪者Webアンケート調査

【アンケート対象者】

- ・過去5年間で日高管内への来訪実績がある日高管内以外の在住者を対象に、道内在住者と道外在住者で各250件を回収する。

【アンケート内容】

- ・来訪実態（目的地、来訪頻度、利用交通手段、多客期など季節別の利用変動 等）
- ・ニーズ把握（公共交通利用者の意見、公共交通を利用しない理由 等）

③バス乗降調査

【カウント調査】

- ・下記の対象路線について、平日いち日について始発便から最終便まで、一人ひとりの乗降停留所をカウント調査する。
- ・日高縦貫線、日高沿岸線、日勝線、特急とまも号、日高町地域内フィーダー系統路線（千栄線、広富線、豊郷線）、新冠町地域内フィーダー系統路線（新和太陽古岸線、若園大富線、美宇東川線）

【ヒアリング調査】

- ・利用目的、頻度、行き・帰りの利用、アクセス公共・公益施設、乗継ぎするバス路線 等
- ・公共交通に関する満足度（便数、運賃、バス停までの距離、バス待合環境、乗り降りしやすさ、バス路線の分かりやすさ）

④交通事業者ヒアリング等調査

- ・バス事業者へのヒアリング調査と地元交通事業者へのアンケート等調査を実施する。

(5) 問題点の抽出・課題整理

- ・「地域公共交通実態調査」や「ニーズ把握調査」等から、以下の視点を踏まえながら問題点を抽出するとともに、課題の整理を行う。
 - ▶現在の公共交通の適切な分析と検証
 - ▶市町村単独公共交通計画等と整合が図られた計画策定
 - ▶広域バスが平行している区間の将来のあり方
 - ▶乗降客の減少対策と行政による損失補填拡大の抑制
 - ▶バス運転手不足への対応
 - ▶高齢ドライバーの運転免許自主返納者への対応
 - ▶移動の利便性の向上
 - ▶まちづくりや観光施策との連動

(6) 基本方針の策定

①基本理念と基本方針の設定

- ・「上位関連計画」や「問題点の抽出・課題整理」等を踏まえ、日高地域公共交通計画の「基本理念」と「基本方針」を設定する。

②計画区域と計画期間の設定

- ・計画区域と計画期間を設定する。

③基本方針の実現に向けた目標の設定

- ・目標、数値指標、現状値と目標値を設定する。
- ・目標値は、「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き（入門編53頁）」を参考に「標準指標」、「推奨指標」及び「選択指標」を設定・検討する。

(7) 北海道日高地域公共交通計画の策定

①地域公共交通の将来像

- ・日高地域公共交通計画の「基本方針」等から地域公共交通の将来像を設定する。

②目標達成のための施策・事業

- ・基本方針ごとに問題点の抽出と課題整理等から、数値目標を達成するための施策・事業を設定する。
- ・各施策・事業は、事業概要や地域間幹線系統の必要性、並びに実施主体等について整理する。

③計画達成状況の評価

- ・施策実施のスケジュール、目標達成度を評価するための年次別目標値、評価結果を踏まえた計画の見直し（PDCAサイクル）について整理する。

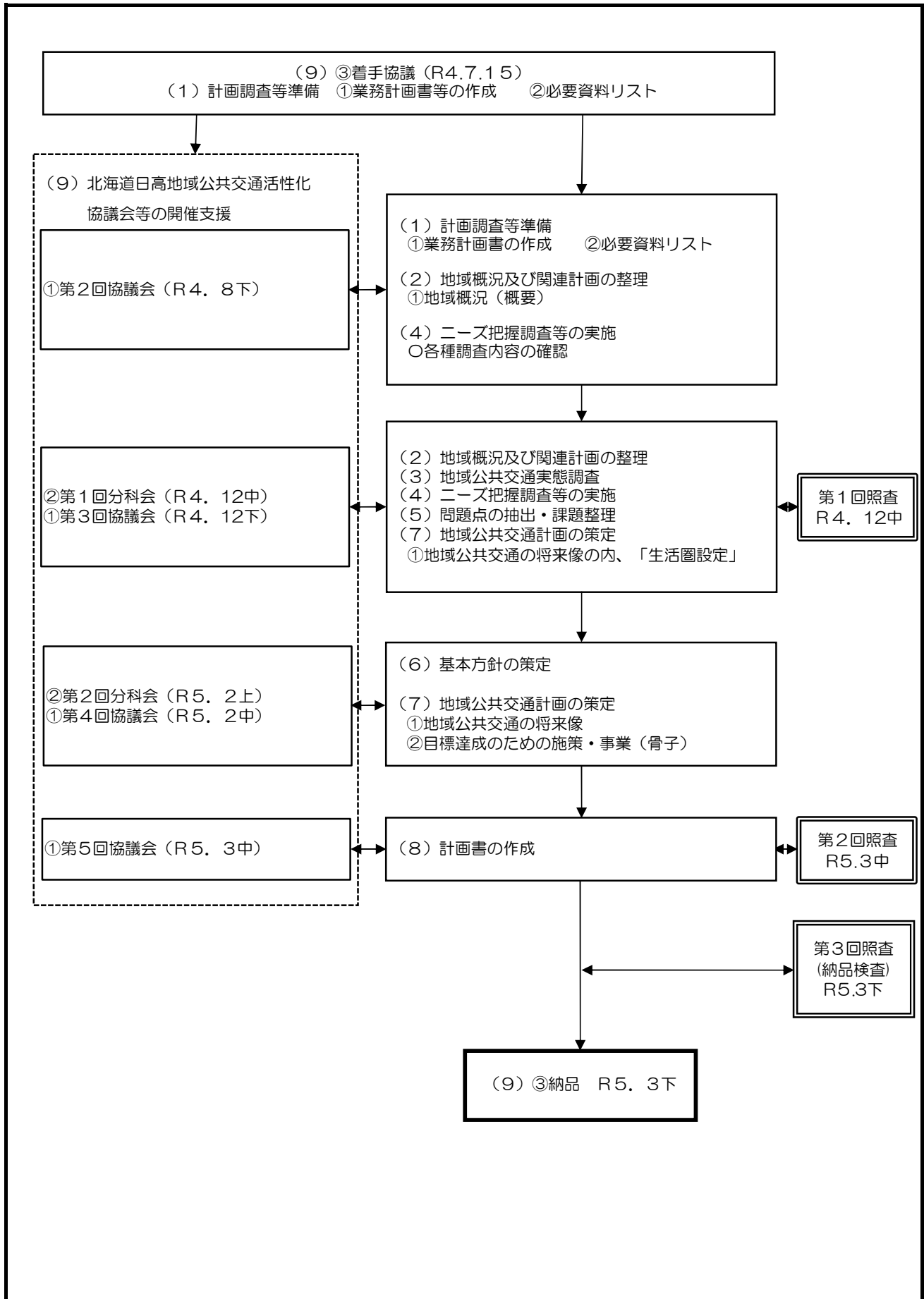
(8) 計画書の作成

- ・成果品として、日高地域公共交通計画書として紙媒体（A4サイズ）、電子媒体（DVD-R）1部を納品する。
- ・計画書は本編40部を納品する。

(9) 北海道日高地域公共交通活性化協議会等の運営支援

- ・協議会開催にあたっては、事務局との事前協議、分科会の開催、協議会への出席や会議資料及び会議記録の作成など、必要な支援を行う。

7. 業務実施フロー図



9. 業 務 組 織 計 画

発 注 者		連 絡 先
機 関 名 称	北海道日高地域公共交通活性化協議会	0146-22-9030
業 務 担 当 員	事務局員 広部 光彦	同上
業 務 担 当 員	事務局員 三浦 舞子	同上

受 託 会 社		作 業 区 分	連 絡 先
管 理 技 術 者	加 藤 芳 樹	業務統括管理	技術第3部 011-859-2604
担 当 者	中 山 祐 二	担当者	同上
担 当 者	榊 原 仁 春	担当者	同上
担 当 者	清 水 克 範	担当者	同上
担 当 者	鹿 野 悦 史	担当者	同上
担 当 者	船 橋 さと美	担当者	同上
担 当 者	今 井 勇 希	担当者	同上
照 査 技 術 者	内 藤 佳 樹	照査担当	同上

10. 打 合 せ 計 画

打合せ協議は、業務を遂行させていく上でポイントとなる時期に行うこととし、次のように計画する。

1. 打ち合わせ等(着手)(令和4年7月15日)

- ・(1)計画調査等準備(業務計画書の作成、必要資料リスト)

2. 第2回協議会(令和4年8月下旬予定)

- ・(1)計画調査等準備(業務計画書の作成、必要資料リスト)
- ・(2)地域概況(概要)
- ・(4)ニーズ把握調査等の実施 各種調査内容(アンケート調査票等)

3. 第1回分科会(令和4年12月中旬予定)

4. 第3回協議会(令和4年12月下旬予定)

- ・(2)地域概況及び関連計画の整理
- ・(3)地域公共交通実態調査
- ・(4)住民及び観光客の移動実態・ニーズ把握調査等の実施
- ・(5)問題点の抽出・課題整理
- ・(7)北海道日高地域公共交通計画の策定
 - ①地域公共交通の将来像の内、「生活圏設定」

5. 第2回分科会(令和5年2月上旬予定)

6. 第4回協議会(令和5年2月中旬予定)

- ・(6)基本方針の策定
- ・(7)北海道日高地域公共交通計画の策定
 - ①地域公共交通の将来像
 - ②目標達成のための施策・事業(骨子)

7. 第5回協議会(令和5年3月中旬予定)

- ・(8)計画書の作成

8. 打ち合わせ(納品)(令和5年3月下旬予定)

- ・成果品の提出

※実施方針のフローに打ち合わせの時期を記す。

11. 成 果 品 の 品 質 確 保 の 計 画

当社としては、下記の手法により成果品の品質確保に努めています。

<ISOの取得・実践による品質確保>

当社では、2000年9月1日にJIS Q 9001を取得・登録し、品質マニュアルに則して作業を実践し、品質確保に努めています。

<品質方針>

成果品の品質については、全社的に次のような方針を定めています。

『確かな技術と最新の技術によって、常に新たな価値を生み出すことにより、顧客の信頼と期待に応え、全社員が責任と誇りを持つ事のできる品質を達成する。』

<部門品質目標>

本業務を担当する技術第3部としては、次の目標を定めています。

コミュニケーションを促進し第三者照査の実施と管理によりミス防止を図るとともに、顧客からの信頼・期待の向上を目指す。

<実 施 方 針>

部門品質方針を達成するために、次の目標を定めています。

①「詳細設計」業務及びまちづくり計画部門の「基本計画」業務を対象に、「基本条件設定時」、「最終段階時等」の段階において確実な第三者照査を行い、第三者記録簿を作成する。また、第三者には類似業務の経験者等を加える。

②照査技術者・管理技術者・担当者により、業務の進捗や業務進捗や顧客との打合せ状況等について適時確認し、抽出された懸案事項に対して解決を図る。また、この内容を記録に残し内部共有する。

<品質確保>

効率的な業務の遂行はもとよりエラーチェックを随時行ないながら成果品を作成することで、その品質を確保します。

<電子納品の実践により品質確保>

電子納品作業に伴い、図面や文書、計算書などの電子データを業務担当者間で共有・交換することにより内容の写し間違いなどのミスを減少し、成果品の品質向上に努めております。

本業務の成果データはDVD-Rに保存して納品します。

12. 成果品の内容、部数

[illegible]

13. 使用する図書及び基準

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| ・ 地域公共交通確保維持改善事業実施要綱 | 国土交通省 |
| ・ 地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱 | 国土交通省 |
| ・ 地域公共交通計画等の作成と運用の手引き〔入門編〕 | 国土交通省 |
| ・ 地域公共交通計画等の作成と運用の手引き〔詳細編〕 | 国土交通省 |
| ・ 地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針 | 国土交通省 |
| ・ 地域公共交通計画と乗合バス等の補助制度の連動化に関する解説パンフレット | 国土交通省 |

14. 照 査 計 画

照査は、業務の目的・主旨に添っているか、経済性を追求しているかどうかを主体とし、単純ミスを防止することも踏まえて適切な時期に行うものとし以下のように計画する。

第1回照査

照査時期	令和4年12月中旬に予定
照査技術者	内藤 佳樹
照査内容	(2)地域概況及び関連計画の整理 (3)地域公共交通実態調査 (4)住民及び観光客の移動実態・ニーズ把握調査等の実施 (5)問題点の抽出・課題整理

第2回照査

照査時期	令和5年3月中旬に予定
照査技術者	内藤 佳樹
照査内容	(8)計画書の作成

第3回照査(成果品の照査)

照査時期	令和5年3月下旬に予定
照査技術者	内藤 佳樹
照査内容	成果品の確認

※実施方針のフローに照査活動の時期を記す。

15. 連 絡 体 制

北海道日高地域公共交通活性化協議会
(北海道日高振興局地域創生部地域政策課地域振興係)
0146-22-9077

